

旭川青年会

一般社団法人旭川青年会議所 広報誌 2013



2013年度広報誌
発刊にあたって

第63代理事長 近藤 博之

ICE WonderLand2013

第54回旭川冬まつり内で開催

第23回烈夏七夕まつり

第52回旭川夏まつりの最後を飾るイベント

旭川未来創造フォーラム

経済成長と青少年育成

例会の紹介／一年間の活動奇跡／
メンバー名簿／メンバーインタビュー



2013 年度スローガン 夢をかなえる力 ～ Dream for Asahikawa ～

2013年度広報誌 発刊にあたって

我々旭川青年会議所は、創立 63 周年を迎え、不断の努力で『明るい豊かな社会』の創造に向けて本年も様々な運動を展開しております。近年は、2010 年代運動指針である「旭川 JC 宣言～夢ビジョン 2010」にのっとり“夢づくり・ひとづくり・地域づくり”のリーダーとなり真に豊かな地域の創造に向けて各種事業を展開しておりますが、本広報誌にて私たちの運動の一端をご紹介したく発刊させて頂きました。各種事業を通じて、時には“地域のリーダーづくり”、時には“経済を意識した地域おこし”、時には“次代を担う青少年育成”を行っております。本広報誌を通じて少しでも私たち旭川青年会議所の運動にご理解をいただき今後ともご協力を頂ければ幸いです。

現在私たちは、80 名前後の会員数で運動を展開しておりますが、随時会員を募集しております。青年会議所は、大きな可能性に向けての自己投資です。他では得られない信頼関係と真の友情を会員間で育みながら私たちのまち旭川の未来を作り上げていく努力を続けていきます。自らの将来に大きな可能性を見出してくれますのでぜひともお問い合わせください。

広報誌ナナカマドの由来

1964 年、旭川青年会議所は、緑橋通りの緑化運動を行い、ナナカマドを植樹しました。ナナカマドの木は、現在ではイルミネーションで美しく飾られ、緑橋通りの象徴となっておりますが、植樹が契機となり、1976 年ナナカマドが、「旭川の木」として制定されました。以上のことからナナカマドは、旭川青年会議所の歴史を作った木でもあり、機関誌の名前も「ナナカマド」となりました。

第63代 理事長
近藤 博之



烈夏七夕まつり

鼓・踊・山
魅せる烈夏魂



旭川の短い夏を熱く盛り上げる烈夏七夕まつり。本年の烈夏七夕まつりは「鼓・踊・山 魅せる烈夏魂」をテーマに、太鼓、踊り、山車が融合した三位一体のまつりを目指しました。参加した山車、太鼓、子ども達の体験和太鼓や、よさこいなど、旭川夏まつりのフィナーレを飾るにふさわしい祭りの盛り上がりとなりました。

フィナーレ会場を5条昭和通へと変更し、そこに大太鼓「神威」を配置、太鼓の鼓動と迫力の山車、そして跳人の躍動を一体とすることができました。またフィナーレでは、織姫と彦星のストーリーをモチーフとした演出で感動を呼びました。「見る祭り」から「参加する祭り」へ、さらなる発展を果たしました。



ICE Wonderland 2013

2月6日(木)から11日(火)までの旭川冬まつり期間中に、冬まつり支援事業として「ICE Wonderland 2013 Smile for ASAHIKAWA」が開催されました。今年は、雪の壁をスクリーンとした「アイススクリーン」、新たなウィンタースポーツである「スノースケートの体験試乗」、「ハート型撮影スポット」など、なにより来場した方が楽しめるような企画演出を行いました。会場に来場された方たちのたくさんの笑顔と、それぞれの企画の楽しさや美しさに感動する多くの声が聞かれました。長い準備期間中、青年会議所メンバーのみならず多くのボランティアの方にお手伝いいただき、その成果を出すことができた「ICE Wonderland 2013」だったと思います。



旭川未来創造フォーラム Asahikawa Creative Future Forum

旭川青年会議所では、「真に豊かな魅力あふれる地域の創造」を運動指針として掲げ、様々な事業を行っています。2013年度は一年間の運動に関する集大成の発信の場として、10月27日に「旭川未来創造フォーラム～地域経済と青少年育成からのアプローチ」を公開フォーラムとして開催いたしました。



第二部
「旭川経済の復活へ！
アジアの成長を取り込め！」
～Take in growth of Asia～

地域経済活性化に関するフォーラムでは「旭川経済の復活へ！アジアの成長を取り込め！」と題して、元国税庁長官の大武健一郎氏の講演、また米山洋氏(日本貿易振興機構)、佐々木通彦氏(株式会社エフ・イー代表取締役)のお二人を交えてのパネルディスカッションにおいて、成長著しいアジア地域の現状を認識し、アジアの成長を取り込むことが旭川地域の経済活性化につながる術であることを示しました。旭川青年会議所としても今後チャレンジしていく必要性を再認識しました。



青少年育成の分野では「未来のたから育成フォーラム」と題して、元日本ハムファイターズヘッドコーチの白井一幸氏、ミュンヘン五輪バレーボール金メダリストの横田忠義氏をお招きし、子どものやる気を伸ばす指導や言葉かけ、地域社会が抱える現状と課題、青少年育成に対する地域社会が持つ可能性など幅広い分野で講演・対談を行いました。参加者からは「子ども達に積極的に関わる地域の大人と、その大人をサポートする仕組みが必要だと再認識した」との感想が聞かれました。

第一部
「未来のたから
育成フォーラム」
～地域ぐるみの青少年育成のために～



1月第二例会

市長例会

<夢をかなえる力実践委員会>

毎年恒例である西川旭川市長をお招きしての市長例会が、1月第二例会として行われました

第一部では、担当委員会から低迷が続く旭川の現状を打破するために外需獲得型の経済活動に目を向けた提言を、アンケートの集計を使いながら、具体的な数値を用いてプレゼンテーションが行われました。引き続き第二部では、提言を踏まえた経済活動の実例や、これからの旭川市の政策・方向性について、西川市長から具体的な事例をもとに講演いただきました。

例会内容が自身の企業経営に置き換えてイメージすることができ、今後の企業活動に大変参考になると同時に、懇親会で西川市長とさらなる懇親を深めることもでき、大変有意義な時間となりました。



2月第二例会

「育てよう!未来の宝見つめよう!未来の夢」旭川は私たち次第! <未来のたから育成委員会>

旭川青年会議所では、子どもは未来の地域を支える「たからもの」という考えに基づいて、多くの青少年育成事業に取り組んできました。地域コミュニティで子どもたちを育てる環境が整わなくなっているのと同時に、近年の少子化の進行によって、学校での部活動が成り立たなくなっている現状もあります。そこで本年は地域で子ども達の育成を支える一つの手法として、「総合型地域スポーツクラブ」に着目し、2月第二例会で提案しました。委員会の提案によって「総合型地域スポーツクラブ」は青少年育成の手法となるだけでなく、地域コミュニティ復活のカギともなり、これからの地域づくりにおいて多世代の力を結集していくことができる手法としても有効であることが分かりました。



4月第二例会

「The brand of Asahikawa JC」

<LOMの夢創造委員会>

旭川青年会議所の運動はどれだけ市民に認知され、理解されているのか。また、地域に根差し、必要とされるような運動ができているのだろうか。そのような視点から、4月第二例会では、旭川JCのブランド力の向上に向けた例会が行われました。

第1部でブランド力に関する基本的な説明があった後、実際に市民や行政、関係団体等に行ったアンケートを基に、旭川JCの運動の認知度や市民・行政等からの評価を明らかにし、課題を浮き彫りにしました。その結果を基に第2部では「白熱教室」と題して全メンバーでのディスカッションを行い、ブランド力向上の必要性や、旭川JCのブランド力を高めていくために本当に必要なことは何かについて熱く議論しました。地域に必要とされ、魅力ある旭川青年会議所へ向けて、さらなる一歩を踏み出すことができました。



7月第一例会/9月第二例会 会員研修「企業力の向上と継続的な成功」のための第一歩 <LOMの力推進委員会>

旭川青年会議所では、継続的な会員研修もとても重要であると考えています。本年は「企業力の向上と継続的な成功」のためのマネジメントとマーケティングについて、北海学園大学大学院の佐藤大輔教授を講師としてお招きし、2回にわたってご講演と演習をしました。両例会は公開例会として市内の若手経済人もメンバーと一緒に講義・演習に参加しました。

例会では社員のやる気を伸ばすマネジメントの方法や、企業の商品が何か、顧客が誰か、ライバルは誰かなどを考えるマーケティングの方法などについて佐藤教授からの講義があり、講義を基に例題に沿った演習で参加者自らが考えて話し合うなど、非常に濃密な研修となりました。



8月第二例会 旭川ナナカマド基金 設立に向けて 10月28日 「旭川ナナカマド基金」設立 <LOMの夢創造委員会>

旭川ではまちづくりに積極的に参画する市民団体やボランティアが確実に増えています。しかし多くの団体で、資金的・人的な課題を抱えている現実もあります。そこで、私たちと同じく旭川の活性化を目指す団体の支援ができないものかと考えました。8月第二例会ではメンバー向けに「旭川ナナカマド基金」構想を提言しました。

そして、10月17日の記者発表を経て、10月28日に「旭川ナナカマド基金」を設立いたしました。この基金は旭川のまちづくり・人づくりに寄与している団体を対象として、事業資金もしくは運営資金として、年間総額30万円の資金助成をする基金です。詳しくは旭川青年会議所のホームページをご覧ください。



10月第一例会 新会員例会「愛を語る夕べ～家族をもっと幸せに、そしてまちづくりへ～」<リーダーシップ委員会>

本年旭川青年会議所には14名の新会員が入会しました。10月第一例会では「愛を語る夕べ～家族をもっと幸せに、そして街づくりへ～」と題して、入会同期の新会員が例会を企画実施しました。入会当時はまだまだ不安な顔を見せていた新会員達が、様々な事業を経験することで少しずつ成長して、みんなで協力して例会を作り上げるまでになりました。当日は家族を大切にすることからその取り組みを通じてまちづくりにつなげていくことを提案しました。

例会計画作り、当日までの準備、演出の手法など新会員全員で話し合いながら取り組んだ姿が見られました。また、メンバーからもプレゼンテーションの技術などに対して称賛の声が上がりました。



2013年度の活動軌跡

1月

1月第一例会 「新年定時総会」「新年交礼会」「卒業生を送る夕べ」
1月第二例会 「市長例会」

2月

2月第一例会 「Ice wonderland 2013 Smile for ASAHIKAWA」
2月第二例会 「育てよう! 未来のためから 見つめよう! 未来の夢」
旭川は私たち次第!

3月

3月第一例会 「新会員仮配属式」
3月第二例会 「きっかけ・レッツゴー!!」～日本・地区事業へ～
新会員セミナー

4月

4月第一例会 「Now, let's think together. あさひかわ JC フォーラム」
4月第二例会 「The brand of Asahikawa JC」

5月

地区事業 「第2回北海道JC フォーラム」
5月第一例会 「会員拡大いつやるか?今でしょ!」

6月

新会員セミナー
6月第一例会 「情報共有例会」
親睦事業 「みんなのハートにアタック No.1」

7月

7月第一例会 会員研修 「企業力の向上と継続的な成功」のための第一歩
7月第二例会 臨時総会

8月

8月第一例会 第23回烈夏七夕まつり「鼓・踊・山!魅せる烈夏魂」
8月第二例会 「旭川ナナカマド基金(仮)設立に向けて」

9月

地区事業 北海道地区大会恵庭大会
9月第一例会 定時総会
9月第二例会 会員研修 「企業力の向上と継続的な成功」のための第一歩
新会員セミナー

10月

日本事業 全国会員大会奈良大会
10月第一例会 新会員例会「愛を語る夕べ～
家族をもっと幸せに、そしてまちづくりへ～」
10月第二例会 旭川未来創造フォーラム

11月

11月第一例会 一般社団法人旭川青年会議所 第63回創立記念式典
11月第二例会 卒業生例会「これだけは覚えておいてください」

12月

12月第一例会 「意気込み例会～勇往邁進～
夢あふれる旭川を創るのは俺たちだ!」
親睦事業 「クリスマス DE ショー」～いつもは面と向かって言えない感謝の
言葉だけど、今日は、この場を借りて言わせてもらいます。…みんな、ありがとう～

2013年度の会員名簿

※2013年11月現在

会 員 名	企 業 名	会 員 名	企 業 名
赤坂 英亮	(株)旭川たかすゴルフクラブ	作家 孝幸	作家整骨院
秋山 謙	(株)ロワジュールホテル旭川	澤田 真由美	(株)澤田企画
石川 泰路	サンプラン	重原 拓司	重原整骨院
石川 正貴	(株)東和リサーチ	嶋岡 寛之	嶋岡産業(株)
石倉 佳明	(有)第一青果	白井 雅人	(有)白井電設工業
石田 慶嗣	学校法人菊枝学園	菅井 謙敬	スガイランドリー(株)
市川 範之	市川農場	助安 秀章	エス・ピー・ネクスト(株)
伊藤 久美	(有)旭川マネキン紹介所	鈴木 慎吾	(株)オイルウェイサービス
伊藤 光裕	(株)MIT	鈴木 大介	北栄通信工業(株)
稲田 良輔	(株)メディカルセンス	鈴木 英和	旭日日章建設(株)
犬伏 和夫	(株)三輪商会	高橋 健太	(株)建創社
井上 雅之	(有)梅光軒	竹内 智子	アイシングクッキー MOMODECO
今津 寛介	衆議院議員今津ひろし事務所	田中 圭祐	(有)ベスト保険サービス
入場 健太郎	キッチンサービス(株)	田中 裕輔	大丸建設(株)
岩井 隆行	旭川駅立売(株)	田村 総司郎	(株)総北海
上田 積	東都自動車工業(株)	蔦井 一義	(株)グローリーズデイズ
内田 貴弘	日新テクノS.A(株)	外崎 裕二	(株)セーブ・エナジー
海野 悠	(有)エイム	富居 慶幸	(株)アサヒ HL
海老子川 雄介	(株)ライナーネットワーク	中井 章仁	カプトヤ薬局
大西 康弘	(有)三景スタジオ	長井 翔一郎	(有)エムピーエス
尾形 智勝	セブンカフェ	中澤 史匡	(株)エヌケイコーポレーション
落合 孝優	大城建設(株)	中村 光一朗	(有)中村葬儀社
淤見 業途	(株)丸信旭川典礼社おみはなや	西村 光	インブルーメント(株)
鏡 圭介	(有)旭川鶏卵	野嶋 壮一郎	司法書士野嶋事務所
上村 有史	(医)利信会上村産科婦人科医院	長谷川 周弘	(有)丸長長谷川調理部
川島 和也	(株)ファスト	林 高辞	旭川だいいち保育園
菊川 直人	(有)萃明	平田 大樹	ヒロキ歯科医院
喜久野 夕介	旭川ふるさと旅行(株)	廣瀬 真希	(一社)ひまわりの会
北崎 梯綱	(株)真英会ぽっかぽかグループ	藤井 昇	藤井測量設計(株)
北谷 憲市郎	(医)歓生会 介護老人保健施設 フェニックス	牧原 史典	(株)五洋商会
久志 卓豊	宗教法人真久寺	松山 奈々	社会福祉法人旭川育成会ほのぼの保育園
小関 聖人	金丸富貴堂(株)	皆川 岳大	旭川総合法律事務所
小島 圭	(株)SP ソリューション	南 智守	ケーコミュニケーションズ(有)
小林 大祐	石焼料理 菊善	村本 暁宣	(株)壺屋総本店
近藤 耕介	(株)近藤染工場	山賀 三碩	(有)マルシン
近藤 博之	だいいち薬局 くすりのだいいち	山添 宏基	(有)山添自動車学園
齋藤 眞美	(有)エムケーキクリーン	山田 篤	土地家屋調査士山田篤事務所
齊藤 三寛	(株)アスクゲート	山田 大生	(株)酒商山田屋
榊原 博史	(有)旭都電機工業社	湯浅 秀昭	(株)旭川グランドホテル
櫻井 学	(有)ポデーショップサクライ	吉村 諭	(株)朝日電機製作所
佐々木 雄二郎	(株)ササキ工芸		

発行者 一般社団法人旭川青年会議所
〒070-0043
旭川市常盤通1丁目道北経済センタービル5階
TEL (0166) 22-9815 FAX (0166) 26-3235

発行人 理事長 近藤 博之
編集 LOMの魅力発信委員会 重原 拓司
製作 LOMの魅力発信委員会
印刷 サンプラン

【編集後記】LOMの魅力発信委員会 委員長 重原 拓司

(一社)旭川青年会議所 2013年度広報誌をご覧頂きましてありがとうございました。この広報誌で一年間の我々青年会議所の魅力を発信し、今後の運動へのご理解とご協力が頂ければと思います。旭川JCが、より皆様の側で活動している事を感じて頂けると幸いです。

最後に、作成にあたり取材や記事作成に多大なるご協力を頂きました皆様に、御礼を申し上げ、編集後記とさせていただきます。

我々と一緒に活動しませんか？

JC は大きな可能性に向けての自己投資です。

他では得られない信頼関係と真の友情を育みながら、私たちのまち旭川の未来をつくりあげて行きませんか？

きっと、あなたの将来に
大きな可能性を見出してくれます。

自分自身を
高めるための
修練

社会との
つながりが
深まる奉仕

ほかでは
得られない
友情と絆



青年会議所
「Junior Chamber (略：JC)」とは

国籍・人種・性別・職業・宗教の区別無く、20歳(旭川JCでは25歳)から40歳までの志の高い青年経済人によって構成されています。日本全国698の地域に約37618人(2013年12月現在)の『修練』『奉仕』『友情』という三信条のもと、率先して行動する仲間がいます。

旭川JCメンバーインタビュー

JC 運動を通じて、同年代の社会人達が、かけがえのない友情や信頼関係、自分自身の成長を実感しながら充実した活動をしています！



(有)丸長長谷川調理部
常務取締役

長谷川周弘

<2008年度入会>

2012年度
広報・会員交流委員会 副委員長
2013年度 理事
総務委員会 委員長

私は、JCに入会した頃は、いまいち組織になじめず人との付き合いも苦手なほとんど活動していませんでした。

自身のJCライフを大きく変革させたのは、2011年度に同じ入会同期のメンバーに誘われて入った、たいせつマルシェに携わる委員会でした。この年は様々な人たちのとの出会いや交流があり、地域活性化のために一つの事業に真剣に取り組むことから、たくさんの知識や経験を学びました。辛いこともありました成し遂げた後の達成感はとても素晴らしいものでした。そしてこれがJCなのだ気づかされました。

様々なJC活動に自ら進んで参加し、そこで得られる自分にとって必要な知識や能力、仲間との絆を自らが習得し、仕事などでフィードバックできるのがJCであることを強く実感しています。



(株)ファスト
代表取締役

川島和也

<2007年度入会>

2012年度
総務・渉外委員会 委員
2013年度 理事
LOMの力推進委員会 委員長

私はJCに入会し今年で7年目となりますが昨年までは積極的にJCと関わる事なくきました。今年、縁あって委員長という役割を受け、職務を全うできるかどうかの不安と、今まで積極的に関わって来なかった事の後悔からのスタートでした。

過去6年間のJCライフから比べ圧倒的に自分に負荷をかけ続けた苦しい1年間ではありましたがその分感動や達成感、人との繋がりの大切さや苦勞をしなければ見えないものや得られないものが非常に多く、JCライフだけではなく今後の私の人生観に大きく影響した1年間でした。

今では委員長という職務を通し「自己成長」の機会を作って頂いた旭川青年会議所に感謝します。



(有)マルシン
取締役

山賀三碩

<2008年度入会>

2012年度
青少年育成委員会 副委員長
2013年度
未来のたから育成委員会 副委員長

私は今年、青少年育成に関わる委員会で、この地域の未来を考えた新しい子ども中心のコミュニティー空間の創造を目指しました。「子ども」「大人」「スポーツ」をキーワードに地域再生の意図を持ったものです。

進行する少子高齢化に向けてやるべきことは何か。今こそ、市民のみなさんと一緒に考え行動することがとても大切だと考えているのです。

10月に行われたフォーラムは、その動機づけと言っても過言ではありません。お招きした講師の方々もそれを理解してお力添えをいただきました。これからは私たちは、地域を重んじ人を想う精神で、「豊かな社会」を目指すべく多くの方々と一緒に努力していきたいと思っております。



(有)旭川マネキン紹介所
代表取締役

伊藤久美

<2013年度入会>

2013年度 新会員

わたしは、活動内容もよく知らないままに、今年3月に旭川青年会議所に入会しました。入会してすぐに同期の新会員が企画する例会があり、まさに作り込みを行っている真最中でした。

他の新会員の皆さんは既にとっても仲が良く、かなりの温度差を感じ、どうしようとの思いを隠さずにはいられませんでした。

しかし、一緒に参加していく中で、例会前に入会で本当に良かったと感じることが出来ました。

初めから衝撃の数々ではありましたが、1年が終わり振り返ると、自分の会社の中では忘れかけていた、緊張感や達成感等を身も心も感じることができ、また、異業種の方々のお話を聞ける機会が増え、充実した大切な時間を過ごせたような気がしています。